



今、南宇和高校が熱い！ 愛南町が熱い！チーム「南宇和」結成！

10クラスあった時代から、今では1学年の定員は4クラス。野球部が甲子園で活躍し、サッカー部が全国制覇したことを知らない若い世代が多いかもしれません。

しかし、昨年、完全に潮目が変わりました。

- ▶ 7年振りの旧帝国大学（最難関大学）である東北大学合格。
東北大学は、イギリスの権威ある教育情報誌『Times Higher Education』が、5年連続して日本の大学ランキング1位に位置付けした大学です。
- ▶ 地域振興研究部は、創部からの長年の取り組みが評価され、令和4年度に全国の公立高校ではその年唯一となる「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞。
- ▶ 南高生の進学を支援するために校内記念館に開設された南光叶夢センター^{なんこうとむ}には、南高&愛南町の取り組みに賛同して国内外からスタッフが集結。
- ▶ 6月1日希望者に給食提供開始。
- ▶ 2学期からは、原付バイクを利用して通学可能（距離などの要件あり）。

チーム「南宇和」で学ばない手はない！





起こせ！イノベーション

今、南宇和高校は教育活動、部活動において、よりよい方向へ変革をしているまさにイノベーション!!
 「勉学に 部活動に 気力を」をスローガンに、現在、部活動は運動部9部、文化部7部が活動しています。このスローガンは、勉強と部活動を両立させ、全てにおいて一生懸命に取り組むという意味を込めた「気力を」からなっています。今年度は陸上競技部、相撲部がインターハイに出場しました。伝統の野球部、サッカー部をはじめ、多くの生徒がインターハイを目指して躍動中!!

良いところは「小規模」
 だということ!



生徒会長 そうすけ 山本湊介さんより

小規模校はデメリットだととられがちですが、僕はそう思いません!南宇和高校には魅力がたくさん詰まっています。

- 人数が少ない分クラスや学年の垣根を越えて生徒みんなの仲が良い。
- 南宇和高校は一人一人が“主役”になれる。
- 進路決定では先生方の一人一人へのサポートがとても手厚い。
 親身になって相談にのってくださったり、小論文や面接の対策も心強い。
- 体育祭は、鳳凰、蒼龍、光虎の3つのブロックがそれぞれ一丸となる「よさこい」や応援合戦は圧巻。

中学生の皆さん、魅力がぎゅぎゅっと詰まっている南宇和高校で
 私たちと一緒に学校生活を全力で楽しみましょう。

学校給食スタート！



6月1日より学校魅力化の一つとして給食がスタートしました。お昼の給食が楽しみ！という生徒も多く、全校生徒の半数が希望して利用しています。町学校給食センターを利用した小中学校と同じ工夫された献立で、栄養バランスの取れた給食です。月3,000円の定額制で安い、おいしい、栄養満点!!南宇和高校でも毎日おいしい給食を食べることができます。

愛南未来づくりプロジェクト



高校生の素朴な疑問や発想力豊かな提案から始まり、愛南町のまちづくりにつながる活動を「地域未来探究」として「農林業」「水産業」「文化・商工観光業」「防災対策・まちづくり」「地域医療・教育・福祉」の5分野に分けて実施しています。

学校と地域とがタッグを組んで地域の魅力、学校の魅力向上に取り組んでいます。私たちは愛南町を愛し、持続的発展に貢献しています!!

私たちのALT！Mr.ショート・アーロン！



出身地 「アメリカ コロラド州(コロラド州立大学)」
好きな食べ物 「納豆」「おもち」
好きなアーティスト 「忌野清志郎」
好きなスポーツ 「卓球」(学生時代は野球とアメリカンフットボール)
南高生へ一言
「英語で話しかけてくれてうれしいです。日常の英会話ができてコミュニケーションができるようになってほしいです」

Hello! Let's enjoy English together! Visit our English Room for communication and games!
I'm looking forward to meeting you! ENGLISH POWER UP!!

国際的視野かつ地域密着の農業科

農業科では愛南町を代表する河内晩柑^{かわちばんかん}、甘夏の栽培や国道56号線のオレンジロードを彩る草花の栽培をはじめ、地元の方々に喜ばれている野菜苗の生産、ほどよい酸味と苦みが人気の愛南ゴールドマーマレードの製造など、実習を通して地域の農業と食に直接触れる学習をしています。

農業科には「農業クラブ」という活動があり、県下の農業高校と情報交換や日頃の学習の成果を競い合うなど、お互いを高めあう魅力的な取り組みで、その活動は全国にもつながっています。平成30年に河内晩柑の栽培においてグローバルGAPを取得したこと、日々の実習で学んだ柑橘栽培技術の普及活動を積極的に行ったことが高く評価され、「未来につながる持続可能な農業推進コンクール(GAPの部)」において、中国四国農政局長賞を受賞しました。国際的な視野を持ちながら、今後も生産者の減少や高齢化といった地域の課題に取り組んでいきます。

※GAP:食品と環境と生産者に配慮した生産物であることを証明する国際規格





生徒が自らの「夢」を「叶」えることを手助けする場所 なんこうとむ 南光叶夢センター

生徒が自立して学習できる環境を整え、生徒の学びをサポートするスタッフが常駐しています。生徒が自ら学びを進めることをサポートする施設で、学習の目的に応じて3つの学習部屋を設置しています。静かに集中して学ぶ部屋、相談や協議をしながら学ぶ部屋、休憩も兼ねて自由に活用できる部屋などそれぞれの目的に応じて部屋を使えます。

またセンターではWi-Fiを使用し、インターネットや動画コンテンツを活用して学んだり、取り揃えている参考書を活用したり、生徒のニーズに応じてゼミなどを個別で実施したりできます。



**マジで超集中できます！
通い慣れてお気に入りの
席が見つかりモチベ
上がってます！！**

**困ってもすぐ助けを呼びやすい
環境と、すぐ調べられる環境であった
おかげでとても勉強が捗りました！**

主な進路実績(過去2年度分主なもの)

南宇和高校では生徒の主体的な自己理解と教員の生徒理解をもとに、個性を生かして将来の生活設計に向け生徒自らが進路を選択・決定できるようキャリア教育の充実を図っています。

進学では、県内外の国公立大学、私立大学、専修・専門学校へ多くの生徒が進学し、自己の可能性を広げています。南光叶夢センターと連携した進学指導のより一層の充実を図っています。

また、就職では地元の基幹産業である農水産関連企業や、地元企業へ就職し、地元愛南町を支えるリーダーとして活躍しています。南宇和高校で夢の実現！自分の可能性を広げよう！！

【進路】

○国公立大学

東北大学、筑波大学、茨城大学、島根大学、岡山大学、広島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学

○公立大学

都留文科大学、岩手県立大学、鳥取環境大学、島根県立大学、山口県立大学、香川保健医療大学、高知工科大学、名桜大学

○私立大学など

文教大学、日本大学、横浜創英大学、人間環境大学、中京大学、大谷大学、京都外国語大学、京都産業大学、佛教大学、桃山学院大学、大阪学院大学、関西外国語大学、近畿大学、大阪人間科学大学、神戸学院大学、関西学院大学、甲子園大学、関西福祉大学、吉備国際大学、岡山理科大学、川崎医療福祉大学、倉敷芸術科学大学、環太平洋大学、広島経済大学、広島工業大学、広島文教大学、安田女子大学、福山大学、福山平城大学、広島文化学園大学、広島国際大学、四国大学、徳島文理大学、四国学院大学、松山大学、聖カタリナ大学、高知リハビリテーション専門職大学、高知学園大学、愛媛県立農業大学校 など

【就職先】

ダイオールサポート(株)、(株)ビージョイ、福山通運(株)、岩城造船(株)、(株)フジ、ダイオーロジスティック(株)、老人福祉施設なんぐん館、安高水産(株)、(有)宇佐水産、サンタ(株)、道後の杜(株)、特別養護老人ホーム自在園、トヨタ自動車(株)、マツダ(株)、(株)四国イエローハット、宇和島信用金庫、大王海運物流(株)、日本郵便(株)、なかお歯科クリニック、(株)三瀬商店、今治造船(株)、山崎製パン(株)、愛南漁業協同組合、社会福祉法人寿楽会、(株)エースワン、(株)レクザム電子四国、ダイハツ工業(株)、(株)ベルゴ、愛南町消防、自衛隊

祝 第70回NHK全国高校放送コンテスト
全国大会出場 清家 爽和さん(高校3年生)

6月に行われた愛媛県高等学校放送コンテストにおいて愛媛県代表6人に選ばれた南宇和高校3年生の清家爽和さんが、7月25日(火)から27日(木)に行われた第70回NHK杯全国高校放送コンテストのアナウンス部門に出場しました。

部活動で放送部に入っている清家さんは、「もし学校内で校内放送をするならどういう風を読むか」をテーマに文章を書き上げました。

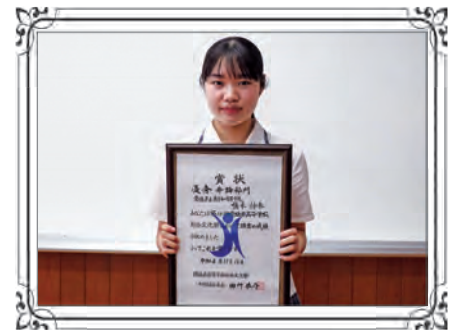
「私は緊張すると丁寧に読もうとして、ゆっくりになりすぎてしまうところがあるので、制限時間を意識してがんばろうと思います」と目標を語った清家さんは、全国大会でも堂々と自分の力を出し切りました。



祝 第47回全国高等学校総合文化祭弁論大会部門
全国大会6位入賞 橋本 怜奈さん(高校3年生)

愛媛県高等学校総合文化祭の弁論部門において県予選を突破した南宇和高校3年生の橋本怜奈さんが、鹿児島県で8月1日(火)から3日(木)にかけて行われた第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会(第69回文部科学大臣旗全国高等学校弁論大会)に出場しました。

大会における弁論テーマは自由。部活動は「地域振興研究部」に入り、役場で地域振興のための会議を見学したこともあるという橋本さんが選んだテーマは、「愛南町に観光客のリピーターを増やすにはどうしたら良いか」。「人と人のつながりを大事にしているのが愛南町の良さだと思います。その魅力を伝えられるように、町外から来た方の意見も参考にしました」と語った橋本さんは、大好きな愛南町に対する思いを弁論し、見事、優秀賞(6位)を受賞しました。



祝 農業クラブ家畜審査競技県大会
全国大会出場 久保 さくらさん(高校3年生)

西予市にある県畜産研究センターで開催された家畜審査競技県大会において、肉牛の部に出場した南宇和高校3年久保さくらさんが見事最優秀賞に輝き、10月に熊本県で開催される第74回日本学校農業クラブ全国大会への切符を手に入れました。

6月に行われた県大会には、「肉牛の部」と「乳牛の部」合わせて13校から53人、南宇和高校から2部門合わせて4人が出場しました。審査競技は、10~20分の制限時間内で目の前に並んだ成牛と仔牛各4頭の体型の良し悪しや健康状態などさまざまな要素から上質なものを見極め、順位付けの正確性を競い合うものです。

実物の牛を見ながら練習する機会は限られているため、資料や動画などを使用して日マイメージトレーニングに励んでいるという久保さんは、「県大会は制限時間をいっぱい使ってしまいましたが、全国大会では自分の直感を信じて上位入賞を目指したい」と意気込みを見せました。

